








湯布院警衛所空調設備改修工事

湯布院警衛所空調設備改修工事

仕 様 書

件 名	湯布院警衛所空調設備改修工事					図面番号	1/3
図 面 尺	作成年月日	企 画	令和 6年 3 月 25日	施設係専門官	電 気 係	担当者	
箱 尺	営繕班長	小 野	管財主任	原	水	担当	
業務隊長	管理科長	山					
							

湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊

仕様書

1 件名 湯布院養術所空調設備改修工事

2 場所 大分県由布市湯布院町川上941 湯上自衛隊 湯布院駐屯地 養術所

3 概要 養術所に設置されているビル用マルチエアコンを室内外機共にリニューアルタイプの空調機に更新する。

4 一般事項

(1) 本工事は、本仕様書によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕課「公共建築（改修）工事標準仕様書（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）」、並びに関係諸法規によるものとする。

(2) 受注者は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「建設業法」に基づき、施工体制台帳の作成等について、法令に遵守のうえ実施するものとする。

(3) 工事に際する事前に必ず現場にて監督者と打合せをするものとする。

(4) 本工事の専業主は、着工前・竣工後・主要な作業状況及び監督者の指示する箇所を撮影するとともに、工事後履修となる部分は写真や写真管理を実施するものとする。工事終了後、A4サイズ写真集に整理して一括監督者に提出するものとする。

(5) 本仕様書等に記載なき事項といえども、技術上当然施工すべき事項については、受注者の負担において実施するものとする。

(6) 工事は他の建設に悪影響を及ぼさないよう十分注意して実施すること。万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに現状に回復するものとする。

(7) 本仕様書及び工事に関する、履修を生じた場合は、監督者と協議のうえ実施するものとする。

(8) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督者の検査を受け、合格したものを使用する。

(9) 本工事にあっては、火災予防、安全管理に十分留意するものとする。

(10) 本工事で生じた発生材のうち、監督者が指示する金属等については、種別等に整理したうえ指定場所へ搬入し、所定の調査を遂行して資源に引き継ぐものとする。その他の発生材については受注者の責任において全て撤外へ搬出、関係法令等に準拠して処分し、マニフェスト（E票）の写しを提出するものとする。

(11) 本工事に必要な電力及び給排水等は電線しないものとし、電線は銅電線、給水は水タンクの搬入を基本とする。ただし、前記要領で使用できない場合は電線と調整し、メーター等を取付け使用量に応じた料金の支払いにより使用できる。

(12) 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。

(13) 本工事は施工に先立ち現場調査のうえ実施するものとする。

5 特記事項

(1) 更新する機器はリニューアル専用用品を使用し、尚冷暖房能力については既設機器の上位品とする。

(2) 冷暖房能力及びドレン配管は再使用する。

(3) 冷暖房能力及びドレン配管は標準フロー率による管内部洗浄を実施する。

(4) 冷暖房能力については既設室外機能力よりも上位の機器を選定する。

(5) 空調機器選定については既設の配管及び配管用遮断器を再使用する。（新規取付配管と付帯がある場合は更新する）

(6) 室外機設置面が外気配管保護については、施工後に現状に復旧する。

(7) 発生材の処理

ア 冷媒ガスは確実に回収を行い破棄処理を行う事。処理完了後は冷媒ガス再生証明書又は破損証明書等の写しを提出する事。

(8) 工事実施期間

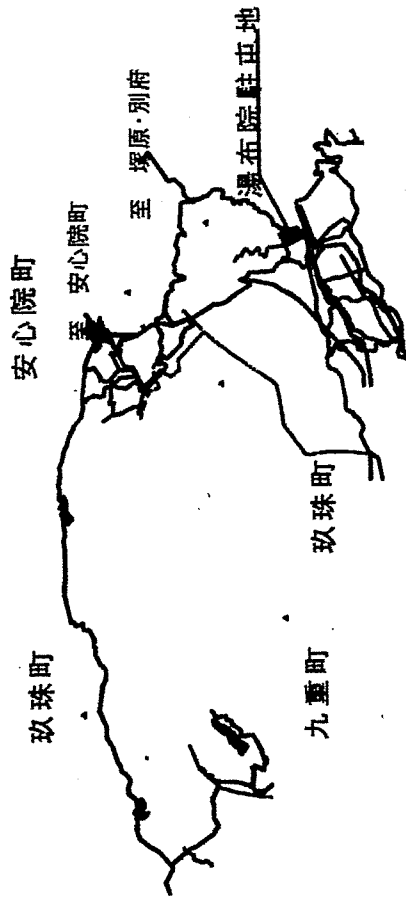
ア 本工事の施工は、既存冷暖房設備の使用期間に実施しない事。使用休止期間の9月・10月にて配管工事その他設備工事を完了させる事。

※ 作業期間（7月～9月）にて冷暖房設備の一時停止で作業（電気工事等）は施工可能。

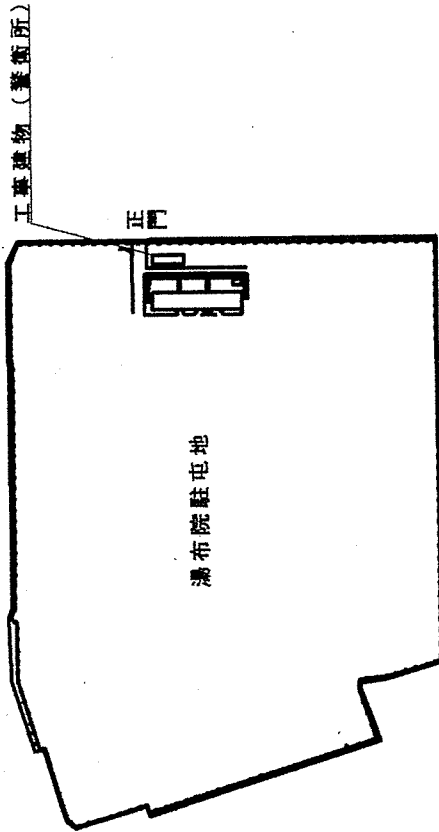
イ 原則とし、令和6年11月10日までに試運転を完了させるものとする。

6 検査

竣工後、監督者の指示する提出書類の提出をもって検査合格とする。



工事箇所案内図



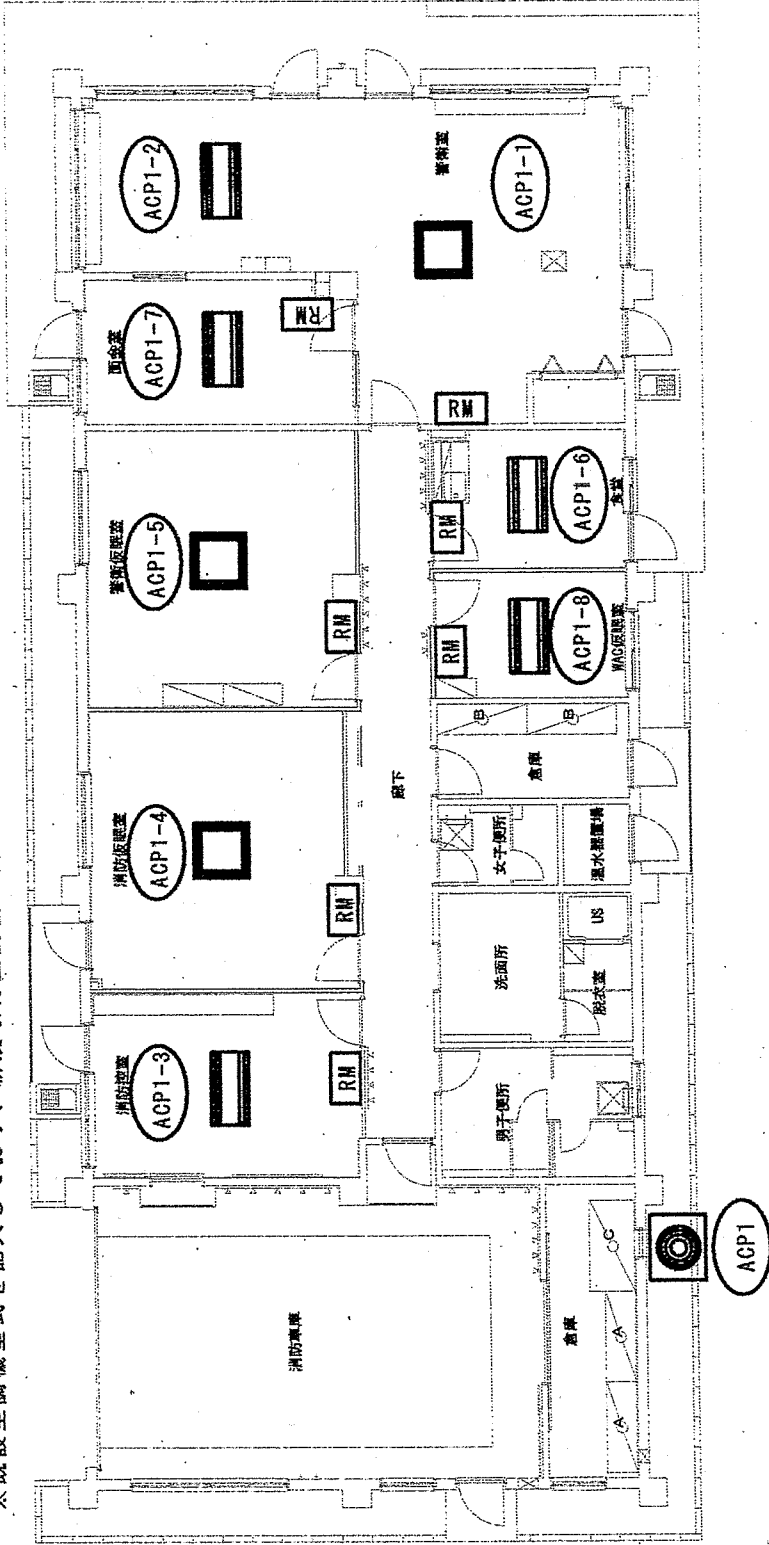
工事建物案内図

件名	湯布院養術所空調設備改修工事	図面番号	2/3
図名	仕様書・案内図	縮尺	
	陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月25日

空調機器諸元表

既設機器名称	製造元	型式	冷房能力	電源	冷媒配管サイズ	製品重量	使用冷媒	備考
ACP-1	日立製作所	RAS-NP335FS	33.5KW	3φ 200V φ12.7	φ25.4	270Kg	R410A	防露フード付き
ACP1-1	日立製作所	RCI-NP40K	4KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	23Kg	R410A	天カセ4方向 ※ 冷房能力5.6KW相当へ更新
ACP1-2	日立製作所	RCID-NP40K	4KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	27Kg	R410A	天カセ2方向 ※ 冷房能力5.6KW相当へ更新
ACP1-3	日立製作所	RCID-NP40K	4KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	27Kg	R410A	天カセ2方向
ACP1-4	日立製作所	RCI-NP36K	3.6KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	23Kg	R410A	天カセ4方向
ACP1-5	日立製作所	RCI-NP36K	3.6KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	23Kg	R410A	天カセ4方向 ※ 冷房能力4.5KW相当へ更新
ACP1-6	日立製作所	RCID-NP28K	2.8KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	27Kg	R410A	天カセ2方向 ※ 冷房能力3.6KW相当へ更新
ACP1-7	日立製作所	RCID-NP22K	2.2KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	27Kg	R410A	天カセ2方向
ACP1-8	日立製作所	RCID-NP22K	2.2KW	1φ 200V φ6.35	φ12.7	27Kg	R410A	天カセ2方向
機器リコソ	日立製作所	PC-PI						7個

※既設空調機型式を記入しており、新規取付空調機の製造元を指定するものではない。



件名	湯布院警察署所空調設備改修工事	図面番号	3/3
図名	空調設備平面図	縮尺	—
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊		令和6年3月25日	